

今日から始めよう、「防災対策」!

まずは、日ごろから一人ひとりが防災意識を高め“自分の周りにどのような危険が及ぶのか”を考え被害を少なくするために行動しましょう。

第3回 コロナ禍での避難について

大雨・台風シーズンを迎え、風水害や土砂災害の危険性が高まった場合には、適切な避難行動が求められます。

災害の危険が迫ったら命を守るため、迷わず避難するようにしましょう。

また、新型コロナウイルスへの感染防止のため、以下の準備をお願いします。

下郡付近の内水状況▶

写真提供:大分大学減災・復興デザイン教育研究センター



市民の皆さまに備えていただきたいこと

市の開設する指定緊急避難場所以外への避難も検討しておきましょう

「避難」とは難を避ける行動のことです。市の開設する指定緊急避難場所(3ページ表参照)に行くことだけが避難ではありません。

「わが家の防災マニュアル」に掲載しているハザードマップを確認し、お住まいの地域が土砂災害や浸水の可能性がある区域に位置しておらず、低い土地や崖のそばではないなど、その場で安全確保できる場合は、**自宅にとどまる在宅避難**を、または**安全な場所にある親戚や知人宅などへ避難**することを検討してください。

在宅避難や親戚・知人宅への避難は、避難場所での3密(密閉・密集・密接)を避けるためにも有効です。

衛生用品を持って避難しましょう

避難場所では不特定多数の人と同じ空間で過ごすことになります。

避難する際には、感染防止のため各自でマスクや消毒液などの衛生用品の準備をお願いいたします。

●非常持ち出し品



※「マ・タ・タ・シ・テ(また足して)」の準備をしておきましょう。

指定緊急避難場所における市の対策

●入所時の避難者に対する問診および体温測定、手指消毒を徹底します。

※問診等の際、速やかに自己申告できるよう、日ごろから自身の体温を把握しておくようにしましょう。

●避難者間の十分な距離の確保および避難場所の換気を徹底します。

●体調不良者へは、一般の人とは別の避難スペースを確保します。 など

